

## 「伝統文化を楽しもう 平家物語 那須与一」

## 挑戦問題 『平家物語の書評文に挑戦』

本単元で育成する資質・能力

情報収集能力、思考力・表現力、挑戦心・探究心、責任感・使命感

## 期待される生徒の変容

挑戦問題として「一年生のために『平家物語』の書評文を書く」ということを目標にすることで、挑戦心や使命感を持って、作品の要素をしっかりと読み取っていく活動とする。また、学んだことを自分の言葉で表現することで、表現力の向上を期待できる。さらには、本作品だけでなく文学作品からメッセージを読み取ろうとする学びの意欲が高まることが期待できる。

## 平成28年度 of 取組より

## Before【初発の生徒の振り返りより】

- ・「平家物語」に伝えたいメッセージがあるのかなあと思いました。
- ・冒頭の「無常観」がちょっと難しいなあと思いました。
- ・平家の女の人が、「射てみる」と出てきたのが、なぜだろうかと思いました。
- ・小学校の時に冒頭を覚えていたけど、深い意味があるなあと思いました。



## After【生徒の振り返りより】

- ・書評文を書くことで、「平家物語」のことを深く知ることができました。自分の思いを人に伝えることで、どのようにすると伝わるか等いろいろ工夫することができ、人に意見を述べる時に役に立つと思いました。
- ・集めた情報を使って書評文を書くことで、もう一度頭の中が整理できて良かったです。平家物語からのメッセージが分かるようになってきて面白くなってきました。人の考えや価値観は一人一人違うのだなあと思いました。
- ・最初は何を書くのか分かりませんでした。教科書や資料を見て情報を集めたり、友だちからアドバイスをもらったりすることで、よりよい書評文を書くことができました。
- ・当時の人が書いたものでも、現代の私たちが読んで共感できるものがたくさんあることが、情報を集めていくうちに分かってきました。私たちの世代でも、未来に残す作品ができるといいなと思いました。
- ・何を伝えたかったのかを考え、言葉にして書くことが難しかったけど、言葉にすることでよりはっきり理解することができました。

与一のすごさを実感するために、弓を引いてみる場面



## 平成29年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・四つの場面を読むことで、平家物語の奥深さに触れることができているが、さらに、普遍的な価値へ近づけた書評文を完成にするためには、発問の工夫や、「平家物語」に関する他の資料を効果的に使い、複数の資料から「平家物語」の読解に迫る場面を取り入れた指導案にする必要がある。
- ・ループリックを入れた振り返りシートを作成して、本時の授業がどのような資質・能力を高めているかを生徒自身で意識していけるように改善する。



『平家物語』からのメッセージについて、グループで意見交換する場面